



## 茶園の基盤整備区域検討に水土里情報システムを活用した事例について

今回紹介する団体：静岡県、水土里ネット静岡

### 取組概要

内容： 県内茶産地の茶園情報（傾斜度、耕作状況、基盤整備状況等）の可視化をすることにより、基盤整備による効果が見込まれる地域を明らかにし、政策的に基盤整備を推進する区域の選定に活用

経緯： 県内には耕作道が狭小で小区画・不整形な茶園が数多く存在しており、農作業の省力化が困難な状況である。

農業の競争力を強化するため、茶の生産においては、茶園の大規模集約型や低コスト化を目指した乗用型茶園管理機等の大型機械の導入を可能とする基盤整備が必要となっている。このような中、静岡県では土地改良法の改正を受けて、農地中間管理事業との連携のもと、行政主導で基盤整備を進める取組を強化している。

そこで今回、GISに登録されている筆ポリゴンを活用して、茶園の位置や耕作状況の確認、国土地理院5mメッシュ標高データをもとに傾斜勾配の算定を行い、政策的に基盤整備を推進する区域を検討するための資料を作成した。



